

1. うるま市の概要

(1) うるま市の位置

うるま市は、沖縄本島中部の東海岸に位置し、県都那覇市から約25kmの距離にあります。重要港湾である金武湾と中城湾に面し、東南部に広がる勝連半島の北方海上および東方海上には、友人、無人の8つの島々があり、美しい風景と豊かな自然環境に恵まれています。

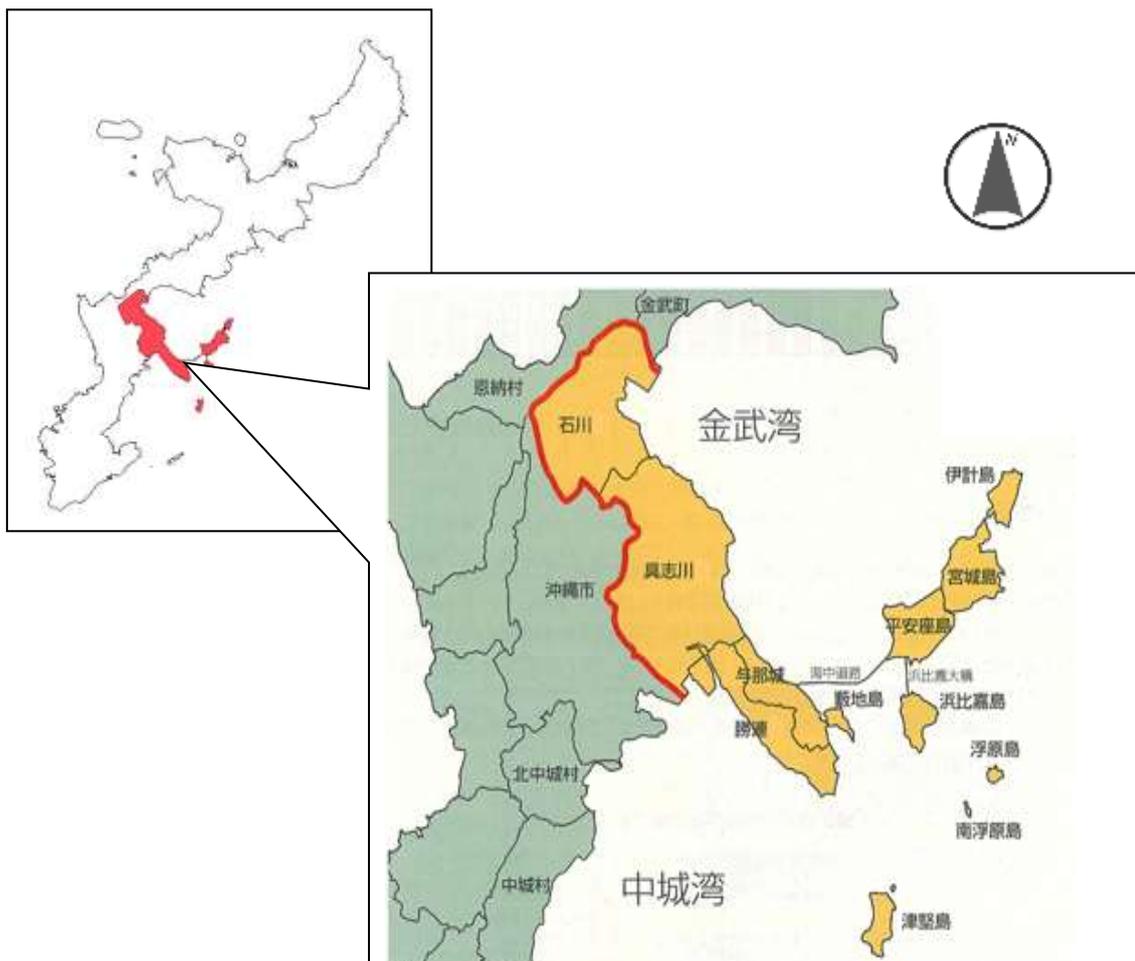
令和6年3月末現在の人口は、126,454人、世帯数は57,507世帯であり、面積は87.01km²となっています。

令和6年3月末(3/31)

126,454人(日本人:124,818人、外国人:1,636人)

57,507世帯(日本人:56,157世帯、外国人:923世帯、混合:427世帯)

うるま市の位置



(2) 沿革

うるま市は、具志川市、石川市、勝連町、与那城町の個性豊かな4市町が合併して生まれたまちです。

具志川市は、約4,000年前に生活が営まれた痕跡を残す古い歴史があり、琉球最古の歌謡集「おもろさうし」に“くしかわ”とあります。豊富な水資源と肥沃で広い土地に恵まれ、かつて砂糖キビの生産が沖縄一を誇っていました。戦後、琉球大学の前身である沖縄文教学校、沖縄外国語学校や農林学校などが続々と創設され、沖縄の文教の中心地として発展してきました。

石川市は、琉球王朝時代の寛文6年(1666年)以前は、現在の沖縄市を中心とする越來間切に含まれる農村集落でした。その後、越來間切から分割された美間切に含まれ、明治41年の沖縄県島嶼町村制の施行に伴い誕生した美里村の一行政区として、昭和初期までその状態が続きました。そして、終戦直後、地方行政措置要綱に基づき、美里村から分離し、石川市が誕生しました。戦中戦後には、米軍により設置された難民収容所や琉球政府の前身である沖縄諮詢委員会や民政府が設置され、沖縄の政治・経済・教育文化の中心地として発展してきました。

勝連町は、古い文献に「賀津連」「賈慈連」という字で表現されており、1609年の喜安日記に初めて「勝連」の二文字が記されています。12～13世紀の築城とされる勝連城は、阿麻和利の乱で落城する1458年まで栄えました。「おもろさうし」には、大和の京や鎌倉に例えられるほどの繁栄が謡われており、活発な海外との交易により発展してきました。また、勝連城跡は、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして、平成12年に世界遺産に登録されました。

与那城町は、約2,500年前の沖縄貝塚時代中期の沖縄最大の段丘集落跡といわれる「シヌグ堂遺跡」があり、その歴史は古く、17世紀中頃以前には勝連麻切に属していました。その後、西原間切として勝連間切から分離・独立され、尚寧王(しょうねいおう)の父親にあたる与那城王子尚懿(しょうい)が拝領地として授かったと記されています。さらに、平田間切、与那城間切と改名を重ね、沖縄県島嶼町村制の施行など歴史的な変動を経験しながら、発展してきました。また、懐中道路(1972年)や伊計大橋(1982年)、藪地大橋(1985年)の完成により、島々の交通の便が飛躍的に向上し、離島苦の解消が図られました。

4市町は歴史的なつながりが強く、地縁、血縁など住民同士の交流は古くから続いていました。また、海に面し、恵まれた地理的条件も含め、生活・経済・文化面において、一体的な日常生活圏を構築していました。そして、平成16年9月の4市町の議会において、廃置分合をはじめとする合併関連議案が可決され、同年10月、沖縄県知事への合併申請後、平成17年4月1日に「うるま市」が誕生しました。

(3) 住民登録人口の推移 (直近10年分)

(各年3月末現在)

年次	地区	世帯数	人口			1世帯あたり 人員	対前年人 口増加数	対前年人 口増加率
			総数	男	女			
平成26年	うるま市	46,757	120,686	60,367	60,319	2.5	346	
	具志川地区	26,819	70,843	35,030	35,813	2.6	620	
	石川地区	9,687	23,649	11,747	11,902	2.4	66	
	勝連地区	5,368	13,869	7,245	6,624	2.6	-134	
	与那城地区	4,883	12,325	6,345	5,980	2.5	-206	
平成27年	うるま市	48,638	121,585	60,888	60,697	2.5	899	
	具志川地区	28,164	71,695	35,507	36,188	2.5	852	
	石川地区	10,077	23,834	11,827	12,007	2.4	185	
	勝連地区	5,466	13,773	7,228	6,545	2.5	-96	
	与那城地区	4,931	12,283	6,326	5,957	2.5	-42	
平成28年	うるま市	49,615	122,087	61,148	60,939	2.5	502	
	具志川地区	28,906	72,557	35,978	36,579	2.5	862	
	石川地区	10,258	23,846	11,826	12,020	2.3	12	
	勝連地区	5,491	13,604	7,121	6,483	2.5	-169	
	与那城地区	4,960	12,080	6,223	5,857	2.4	-203	
平成29年	うるま市	50,564	122,702	61,511	61,191	2.4	615	
	具志川地区	29,581	73,368	36,402	36,966	2.5	811	
	石川地区	10,498	24,038	11,922	12,116	2.3	192	
	勝連地区	5,549	13,501	7,080	6,421	2.4	-103	
	与那城地区	4,936	11,795	6,107	5,688	2.4	-285	
平成30年	うるま市	51,537	123,308	61,824	61,484	2.4	606	
	具志川地区	30,346	74,330	36,859	37,471	2.4	962	
	石川地区	10,724	24,098	11,982	12,116	2.2	60	
	勝連地区	5,507	13,203	6,930	6,273	2.4	-298	
	与那城地区	4,960	11,677	6,053	5,624	2.4	-118	
令和元年	うるま市	52,696	124,014	62,322	61,692	2.4	706	
	具志川地区	31,284	75,366	37,430	37,936	2.4	1,036	
	石川地区	10,814	23,947	11,966	11,981	2.2	-151	
	勝連地区	5,573	13,123	6,924	6,199	2.4	-80	
	与那城地区	5,025	11,578	6,002	5,576	2.3	-99	
令和2年	うるま市	53,746	124,603	62,707	61,896	2.3	589	
	具志川地区	31,993	76,073	37,822	38,251	2.4	707	
	石川地区	10,928	23,891	11,967	11,924	2.2	-56	
	勝連地区	5,689	13,079	6,914	6,165	2.3	-44	
	与那城地区	5,136	11,560	6,004	5,556	2.3	-18	
令和3年	うるま市	54,747	125,394	63,021	62,373	2.3	791	
	具志川地区	32,677	76,763	38,105	38,658	2.3	690	
	石川地区	11,151	24,016	12,007	12,009	2.2	125	
	勝連地区	5,739	13,033	6,885	6,148	2.3	-46	
	与那城地区	5,180	11,582	6,024	5,558	2.2	22	
令和4年	うるま市	55,333	125,570	62,929	62,641	2.3	176	
	具志川地区	33,046	77,010	38,103	38,907	2.3	247	
	石川地区	11,302	24,222	12,092	12,130	2.1	206	
	勝連地区	5,759	12,826	6,776	6,050	2.2	-207	
	与那城地区	5,226	11,512	5,958	5,554	2.2	-70	
令和5年	うるま市	56,363	126,023	63,120	62,903	2.2	453	
	具志川地区	33,785	77,554	38,409	39,145	2.3	544	
	石川地区	11,482	24,255	12,071	12,184	2.1	33	
	勝連地区	5,782	12,691	6,694	5,997	2.2	-135	
	与那城地区	5,314	11,523	5,946	5,577	2.2	11	
令和6年	うるま市	57,507	126,454	63,410	63,044	2.2	431	
	具志川地区	34,469	78,005	38,635	39,370	2.3	451	
	石川地区	11,646	24,183	12,057	12,126	2.1	-72	
	勝連地区	5,988	12,823	6,789	6,034	2.1	132	
	与那城地区	5,404	11,443	5,929	5,514	2.1	-80	